

世代間交流八王子駅前サロンプロジェクト 2019

団体名 多摩大学梅澤ホームゼミナール

代表者 池田 侑真 (3年)

菅原 侑士・高橋 亮 (2年)

① 事業内容

本プロジェクト(以下、PJ と省略)は、八王子市ふれあい・いきいきサロン支援事業の一事業として、八王子市社会福祉協議会、八王子市民生委員・児童委員協議会第4地区の民生委員、ボランティア、八王子市地域包括支援センター旭町(あんしん相談センター:以下、センターと省略)の皆さんと連携して「駅前」という特徴を活かした高齢者サロンの運営を行うものである。

八王子駅前にはビルが乱立する商業地域だが、ビルオーナーとして独居する高齢者は意外に多く、近年は駅周辺再開発により高層マンションの新築が続く、郊外から駅前に移住された高齢者も増えている。このようことから、PJは「多世代交流」をキーワードに高齢者が集える場(サロン)の運営を目的としている。

第一の目標は、高齢者の方々がゆったりと過ごせて、多世代が交流できる「みんなのゆったりサロン」である。第二は、高齢者の皆さんに外出してもらい活動を活発にすること、健康長寿の一助となることである。第三は、「駅前」という利便性と特色を活かした地域を超えて集まっていただけのサロンの仕組み作りである。第四は、運営する側も多世代でつながり活動を継続することである。

【開催場所・日時】

場所はJR八王子駅前からお年寄りの足で徒歩5～7分の雑居ビル3階にあるセンターの一室(10畳程度のスペース)である。開催日時は、毎月第3木曜日午後2時から3時30分の90分、年10回開催している(※2・8月は休み)。駅前サロンは2016年6月から2020年1月までの約4年間で36回実施した。3月に今年度最後のサロンを予定している。

【連携団体の役割・活動内容】

運営は、民生委員、ボランティア、センターの方々や学生で分担している。民生委員、ボランティアの皆さんは、担当地区での駅前サロン参加の呼びかけや当日の茶菓の準備・提供、歌の時間の選曲と演奏、おもてなし、交流等々を、センター職員の皆さんは場所の提供、受付、お帰り前の準備として体操指導、職員ならではの情報提供を担当して下さっている。

【学生の役割・活動内容】

学生の役割は参加者との交流、サロンの司会進行、話題提供(PPTを活用した季節の話題やクイズ等)、運営側の皆さんのお手伝い等である。その他に次回のサロンを紹介するチラシ作成、サロンを広く知ってもらうためのパンフレットの作成、その他には地域高齢者の生活実態やニーズの調査とそれに基づくサロンの改善案を提案していくことである。

② 2019年度の活動報告・活動成果

【サロンの運営について】

今年度は2019年4月から～2020年1月まで9回開催し、13地区から延べ125名の方にご参加いただいた。民生委員の方々のお声かけにより参加者の幅が広がっているが、会場は運営側を含め最大でも30名までしか収容できないことから、1回の参加者も担当学生も増やすことができないことが課題である。

ゼミ内の体制の変化として昨年度より企画はPJメンバーが行い、サロン当日はゼミに所属する2～4年生約30名が分担して全員活動することにしたところ、ゼミ生がそれぞれ担当するPJを越えてさまざまな活動を体験することができ相乗効果が生まれている。また、毎回異なる学生たちの参加は、参加者の皆様に大変好評である。2年前までは7月と1月は試験期間と重なってしまうため参加が難しかったが、4年生が担当することで10回全てのサロンを担当することができるようになった。

また、今年度からは午前中に履修科目のない学生は民生委員の皆さんの集合時間に集まるようにし、設営準備もしっかり行うよう努めている。当日の茶菓の提供についても一緒に行うようにした。

【チラシ、パンフレットの作成】

次回のサロンをお知らせするチラシは、開催日時を大きく見やすく記載し、八王子周辺のイベント情報を民生委員の方からご提供いただき掲載している。その目的は高齢者の方々が少しでも外出する機会を持ち、外との交流を持って刺激を受けてもらうためである。

また連携団体の皆様より、町会等の掲示板に貼れて、地域の見守りの際に紹介できる丈夫なパンフレット作成の希望が寄せられ、ラミネート加工（2018年度補助金で購入）によるパンフレットを30部作成した。

【事例紹介冊子の作成】

私たちのプロジェクトは2016年度より「学生企画事業補助金」対象事業として頂き、継続的な活動を行うことが出来た。

そのような中、学生や他地域の民生委員の方々が見学し説明を求められることもある。

連携団体の方々は、集まりで「どうしたら学生に参画してもらえるのか」と聞かれることも多いそうだ。そこで今年度はこの活動を「学生と民間団体が連携して企画・運営する高齢者サロンの一事例」として冊子にまとめ、学生と地域の方々が連携する参考にしてもらおうと考えた。冊子を作成する中で、連携団体の皆様と夫々の役割



ラミネート加工した駅前サロン紹介パンフレット



駅前サロン事例紹介冊子
中折 A4 サイズ 8 ページ

や事前・事後に行っていること等を確認し、活動への思いを伺うことができた。また、参加者の皆様からも駅前サロンの特徴や魅力について伺うことができた。その内容については、冊子の中に詳しく記載しているのでそちらをご覧ください。

今回の冊子作成を通じて、これまで漠然としていた連携団体と学生の役割が明確になり、運営に関する考え方を固めることもでき、今後、活動を継続するにあたり重要な議論を行うことが出来た。

学生がサロン運営に参画することの意味や役割がよく理解できたこと、連携団体の皆様や大学コンソーシアム八王子事務局担当の皆様が私たちの活動を真剣に受け止め、対等に関わって下さっていることがこれまでにない喜びであった。

③ 事業を実施した感想、今後の方向性について

参加者の方々からは「学生たちが自分たちのために試行錯誤しながらサロンの内容を考えてくれていることが嬉しい」、「成長して関わるものがなくなった孫のよう」、「孫のことが理解できるようになった」、「学生と話すとなると、今日はどんな話しをしようかと頭を使い、よい意味で緊張感があってよい」等々、多世代交流ならではの感想をいただいている。最近では参加者同士の会話も活発になってきている。「これまではご近所の付き合いだったが、駅前サロンでお友だちが増えた」、「買い物をしていて声をかけられたり、立ち話ができることが嬉しい」ということである。これまでは「傾聴」を大切にしてきたが、参加者同士がつながっていく架け橋になるような働きかけも意識したいと考えている。

謝辞

サロン参加者の皆様、八王子市民生委員・児童委員協議会第4地区民生委員の皆様、八王子市社会福祉協議会、八王子市地域包括支援センター旭町職員の皆様へ心より感謝申し上げます。また、活動を支援して下さった大学コンソーシアム八王子の皆様へ御礼申し上げます。最後になりましたが、本PJにいつも助言、協力してくれているゼミ生の皆さん、ありがとうございました。